

2023 年度 大学院春季入試（法律学専攻）

博士課程（前期）

専攻科目 民事法演習

---

【合否判定の方法】

・一般 1 方式《外国語科目》《専攻科目》《面接》

提出書類、外国語科目と専攻科目の筆記試験の成績、および面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

一般 2 方式《専門科目》《専攻科目》《面接》

提出書類、専門科目と専攻科目の筆記試験の成績、および面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

法律学専攻の入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、提出書類、筆記試験の結果、および面接の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士前期課程における研究遂行能力の有無を判断する。

1 試験日 2023 年 2 月 17 日

2 科目 民事法演習（民法 萩原基裕） （100 点満点）

3 出題意図

民法、そして契約法の基本原則である契約自由の原則に関する基礎知識が備わっているかを確認する。契約自由の原則は現在では民法に規定があることから、条文の知識を有しているかのみならず、例外的に契約自由の原則が適用されない場面も問うことで、他の条文や法規との関係まで適切に理解できているかも確認する。

以上